

銀河に乗って楽しむ

おおたけコンビナート

夕暮れ&夜景クルーズ



大竹市では、昭和37年に日本で最初の石油化学コンビナートが誕生しその後、臨海工業地帯として発展してきました。夜になると工業地帯の工場から幻想的な光が放たれています。銀河に乗って「夕暮れどきの大竹」と「幻想的な工場夜景」を満喫してください。

★運航日時

令和元年 **9月21日** (土)

*夕暮れコース 16:40~18:00

*夜景コース 18:50~20:10

★募集定員

各コース200名 ※応募者多数の場合は抽選

(予定)

★クルーズ船

瀬戸内海汽船「銀河」乗船場所：大竹港

★乗船料

1階(45席)1,500円、2階(135席)2,500円、3階(20席) 3,000円
(乗船料のみ)

(飲食の持ち込みは禁止。船内でお弁当、軽食、特産品を販売予定)

★お申込み方法

往復はがきに①希望のコース②希望のお席(1階、2階、3階)・・・第2希望まで③参加人数(6名以内)④代表者の氏名⑤住所⑥電話番号を記入の上投函ください。
(裏面の記入例をご覧ください)

★応募締め切り

8月13日(火) (当日消印有効)

★発表

応募者多数の場合、8月20日に抽選を行い、返信ハガキにて当落の結果をお送りします。後日、当選者の方のみ詳細をお知らせいたします。

お申込み・お問合わせは・・・大竹商工会議所 TEL (0827) 52-3105

*お申込みいただきました個人情報につきましては、名簿の作成、及び当イベントに関する連絡事項のみに使用いたします。

～大竹の工場夜景～

大竹市は宮島を臨む海に面したコンビナートの町で広島県と山口県の県境にあります。

400年以上の歴史を持つ、県内唯一の「手すき和紙」が有名ですが、最近は和紙だけでなく、工場地帯の夜景も話題になっています。

市内の高台からのぞむ、コンビナートの夜景はとても美しく、撮影に来られる方も少なくありません。

大竹の工場地帯は昭和37年に日本で最初に建設された石油コンビナートで、今は日本を代表する企業が化学製品など様々な製品を作っています。

夕暮れになると、工場地帯が宝石箱のように変わり、それはまるで「地上の星」。昼間の工場地帯とは一味違う夜の絶景を是非お楽しみください。



お申込み前にお読みください


- * 「夕暮れコース」と「夜景コース」を重複してのご応募はできません。(どちらか一方のみ)
- * 1枚で6名まで申し込みができます。2歳以下のお子様は無料(但し、お席の準備はできません)
- * お席は全席指定。グループ(複数)で申し込まれた場合、お席によっては別々のテーブルになる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- * 大竹港までは、大竹駅前よりシャトルバスをご用意いたします。
- * 船内は、飲食の持ち込みを禁止とさせていただきます。船内で弁当の販売(事前予約)、軽食、飲み物、お土産の販売をする予定です。
- * 船内でイベント等の催しは予定しておりません。景色等をご堪能ください。


(◎当選者の方のみ、後日、本申し込み書、詳細をお送りします)

(大竹の工場夜景)



(応募はがき記入例)

 〒739-0612 (往信)	(白紙) 何も書かないでください
大竹市油見3-18-11 大竹商工会議所 クルージング係 御中	

 〒000-0000 (返信)	①希望のコース (夕暮れ 又は 夜景) ②ご希望の席 第一希望 第二希望 ③参加人数 ④代表者の氏名 ⑤代表者の住所 ⑥代表者の電話番号
大竹市新町〇-〇-〇 ゆうみ 次郎 様 (申込者の住所・氏名)	